

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月6日

上場会社名 東和薬品株式会社

上場取引所 東

コード番号 4553 URL <http://www.towayakuhin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉田 逸郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長

(氏名) 西川 義明

TEL 06-6900-9101

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	9,461	13.5	1,990	83.4	1,669	35.6	1,003	16.2
21年3月期第1四半期	8,336	—	1,085	—	1,231	—	862	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	58.43	—
21年3月期第1四半期	50.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	47,800	38,726	81.0	2,255.85
21年3月期	48,238	38,045	78.9	2,216.14

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 38,726百万円 21年3月期 38,045百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	22.50	—	22.50	45.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	22.50	—	22.50	45.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	18,800	9.7	3,250	23.2	3,300	18.7	2,000	19.9	116.50
通期	39,000	8.4	7,400	15.5	7,500	12.2	4,500	19.1	262.12

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(2)をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 17,172,000株 21年3月期 17,172,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 4,681株 21年3月期 4,556株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 17,167,380株 21年3月期第1四半期 17,167,614株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている連結業績予想に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、昨年秋以降、大きく後退した景気が下げ止まりつつあります。2008年度補正予算の執行による公共投資の増加や消費刺激策が寄与しているものと考えられますが、今後は景気回復の息切れも予想されます。

医療用医薬品業界では、大きな環境変化はありませんでしたが、「平成24年度までに、後発医薬品の数量シェアを30%（現状から倍増）以上にする」という政府目標に向けて、今後ともさまざまな施策が行われるものと思われ、後発医薬品の使用促進は徐々にではありますが、確実に進捗しております。

このような中、当社グループは、なお一層の「安定供給」「品質確保」「情報提供」への取り組みを進め、来るべき本格的なジェネリック医薬品の時代に、ジェネリックメーカーの中で最も信頼される会社となれるよう、努力を重ねております。当第1四半期においては、保険薬局の取引軒数の拡大や、病院市場の強化などに取り組みました。また、5月には、当社独自のRACTAB技術を用いたランソプラゾールOD錠「トローワ」など、12成分14品目を新発売いたしました。

この結果、当第1四半期の当社グループの売上高は、9,461百万円（前年同期比13.5%増）となりました。一方、広告宣伝費、試験研究費の発生時期の遅れなどで販売費及び一般管理費が一時的に減少したことにより、営業利益は1,990百万円（前年同期比83.4%増）となりました。また平成21年3月末から2円22銭の円高になったことに伴い、235百万円のスワップ評価損を計上したこと、および有価証券評価損128百万円を計上したことなどにより、経常利益は1,669百万円（前年同期比35.6%増）となり、四半期純利益は、1,003百万円（前年同期比16.2%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、47,800百万円となり、前連結会計年度末比438百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少であります。

負債につきましては、9,073百万円となり、前連結会計年度末比1,119百万円の減少となりました。その主な要因は、未払法人税等の減少などであります。

純資産につきましては、38,726百万円となり、前連結会計年度末比681百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加であります。

その結果、自己資本比率は81.0%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期末における現金及び現金同等物は2,533百万円（前年同期末比1,891百万円の増加）となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は724百万円の増加（前年同期比1,351百万円の増加）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益1,668百万円、減価償却費403百万円等であり、主な減少要因は法人税等の支払額1,586百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は1,233百万円の減少（前年同期比702百万円の増加）となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出1,266百万円等であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は386百万円の減少となりました。主な減少要因は、配当金の支払額386百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績はほぼ計画どおり進捗しており、平成21年5月14日に公表しました平成22年3月期の連結業績予想（第2四半期連結累計期間及び通期）に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
簡便な会計処理

1. 固定資産の減価償却費の算定方法として定率法を採用している固定資産については、当連結会計期間に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。
2. 法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,106,787	2,912,744
受取手形及び売掛金	13,785,760	13,902,018
有価証券	426,445	512,641
商品及び製品	5,372,860	5,418,888
仕掛品	1,696,212	1,747,385
原材料及び貯蔵品	2,492,721	2,269,343
その他	1,538,017	1,687,815
貸倒引当金	△112,048	△40,446
流動資産合計	27,306,757	28,410,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,651,587	7,612,949
機械装置及び運搬具(純額)	2,161,800	2,271,700
土地	6,600,957	5,689,542
建設仮勘定	395,932	355,698
その他(純額)	444,727	469,812
有形固定資産合計	17,255,005	16,399,704
無形固定資産	277,373	229,655
投資その他の資産		
投資有価証券	2,169,620	2,296,120
その他	819,097	930,035
貸倒引当金	△27,310	△27,330
投資その他の資産合計	2,961,407	3,198,826
固定資産合計	20,493,786	19,828,186
資産合計	47,800,544	48,238,579

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,409,719	4,330,534
未払法人税等	744,508	1,698,566
引当金	14,550	58,200
その他	2,975,315	3,155,580
流動負債合計	8,144,094	9,242,881
固定負債		
引当金	145,132	152,045
その他	784,402	798,130
固定負債合計	929,535	950,175
負債合計	9,073,629	10,193,057
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,717,700	4,717,700
資本剰余金	7,870,735	7,870,735
利益剰余金	26,130,746	25,514,008
自己株式	△10,156	△9,646
株主資本合計	38,709,024	38,092,797
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17,889	△47,275
評価・換算差額等合計	17,889	△47,275
純資産合計	38,726,914	38,045,522
負債純資産合計	47,800,544	48,238,579

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	8,336,199	9,461,978
売上原価	4,363,350	4,691,348
売上総利益	3,972,849	4,770,629
販売費及び一般管理費	2,887,691	2,780,593
営業利益	1,085,157	1,990,035
営業外収益		
受取利息	31,559	5,848
受取配当金	1,465	1,207
有価証券売却益	165	—
有価証券償還益	7,267	—
技術指導料	—	16,093
スワップ評価益	198,319	—
その他	48,414	24,726
営業外収益合計	287,192	47,876
営業外費用		
支払利息	2,179	2,210
有価証券償還損	—	1,190
有価証券評価損	139,105	128,789
スワップ評価損	—	235,592
その他	47	998
営業外費用合計	141,332	368,781
経常利益	1,231,016	1,669,130
特別利益		
貸倒引当金戻入額	21,840	1,040
退職給付制度終了益	231,796	—
特別利益合計	253,636	1,040
特別損失		
固定資産処分損	290	1,921
たな卸資産評価損	10,135	—
特別損失合計	10,426	1,921
税金等調整前四半期純利益	1,474,227	1,668,249
法人税等	611,267	665,244
四半期純利益	862,959	1,003,005

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,474,227	1,668,249
減価償却費	403,810	403,821
のれん償却額	5,294	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△20,404	71,582
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△156,236	13,870
固定資産処分損益 (△は益)	290	1,921
受取利息及び受取配当金	△33,025	△7,055
支払利息	2,179	2,210
たな卸資産評価損	10,135	—
スワップ評価損益 (△は益)	△198,319	235,592
有価証券評価損益 (△は益)	139,105	128,789
有価証券売却損益 (△は益)	△165	—
有価証券償還損益 (△は益)	△7,267	1,190
売上債権の増減額 (△は増加)	△146,650	116,258
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△296,380	△126,177
仕入債務の増減額 (△は減少)	△232,757	79,185
その他	△615,575	△291,613
小計	328,259	2,297,824
利息及び配当金の受取額	52,141	16,055
利息の支払額	△2,179	△2,210
法人税等の支払額	△1,004,535	△1,586,859
営業活動によるキャッシュ・フロー	△626,314	724,810
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△790,640	△1,266,136
投資有価証券の取得による支出	△50,000	—
投資有価証券の売却による収入	404,152	97,410
貸付金の回収による収入	3,540	2,000
その他	△98,124	△66,986
投資活動によるキャッシュ・フロー	△531,072	△1,233,713
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△386,714	△386,464
自己株式の取得による支出	△483	△510
財務活動によるキャッシュ・フロー	△387,198	△386,975
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,914	3,724
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,529,669	△892,153
現金及び現金同等物の期首残高	2,171,124	3,425,386
現金及び現金同等物の四半期末残高	641,454	2,533,232

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める医薬品事業の割合がいずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

在外子会社、在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

海外売上高は連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。